

東京都立大江戸高等学校 平成29年度 地理歴史科 年間授業計画

1. 科目名 日本史B
2. 講座名(単位数) 日本史B(4単位)
3. 教科担当者
4. 使用教科書・教材 『高等学校 日本史B 最新版』(清水書院) 『新詳日本史』(浜島書店)
5. 授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	○日本文化のあけぼの 1: 日本列島にはいつから人が住み始めたのか 2: 縄文人はどのような暮らしをしていたのか 3: 弥生時代はいつ始まったのか 4: 邪馬台国はどのような国だったのか 古代国家の形成と東アジア 5: ヤマト政権と古墳にはどんな関係があるのか 6: 豪族の統治はどのようにしておこなわれたか 7: 飛鳥文化とはどのような文化であったのか	○古代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 邪馬台国の成立過程と展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現させる。 邪馬台国の成立過程と展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係と関連付けて理解させる。 古代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 ヤマト政権の形成、飛鳥文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係と関連付けて理解させる。	○古代から近代に至るまでのわが国の歴史の基礎的基本的事項について理解している。 ○歴史学習に対し自ら目的意識を持ち、興味・関心をもって学習に意欲的に取り組んでいる。	8
	5	○律令国家の成立と都城 8: 律令体制はどのようにして成立したのか 9: 律令体制とはどのような体制なのか 10: 奈良時代の政治はどのようにすすめられたのか 11: 天平文化はどのような特徴をもっていたか	○古代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 律令政治の成立と東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現させる。 律令政治の成立と展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係と関連付けて理解させる。	○多面的・多角的な視野をもって歴史事象を捉え、歴史事象発生の過程について資料を活用し、論理的に思考し、また公正に判断し、適切に表現しようとしている。	16
	6	○古代国家の推移と社会の変化 12: 桓武天皇の律令政治再建策とは何か 13: 平安初期の密教的文化はどんな特色をもつか 14: 摂関政治はどのようにして成立したのか 15: 文化の国風化、浄土思想とは何か ○古代から中世社会へ 16: 中世社会はどのようにして成立したのか 17: 武士はどのように成長していったか 18: 院政期の政治と文化はどんなようだったか	○古代国家の推移と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 律令政治の変質と摂関政治、平安期の社会・文化の特色とその成立の背景及び中世社会への萌芽から課題を見だし、東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現させる。 ○中世国家の形成過程と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 平氏政権の形成過程、院政期の文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、過程や結果を適切に表現させる。	○歴史学習を通して、自国に対する理解を深めるとともに、東アジアにおけるわが国の地位や課題について理解している。 上記の観点に基づき、 1 定期考査 2 提出物 3 取組み から総合的に評価する	16
	7	○武家政権の成立と鎌倉文化 19: 平氏政権はなぜ崩壊し、鎌倉幕府に代わったのか 20: 鎌倉幕府はどのように勢力を拡大したか 21: 鎌倉時代の政治と仏教のかかわりはどうだったか 22: 鎌倉文化はどのような特徴をもっていたか 23: モンゴルはなぜ日本を攻め取れなかったのか 24: 鎌倉幕府はなぜ滅亡したのか	○平氏政権の形成過程、院政期の文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係と関連付けて理解させる。 中世国家の成立と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 武家政権の成立や社会の仕組み、鎌倉文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、宋・元など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現させる。 鎌倉文化の特色を宋・元など東アジア世界との関係と関連付けて理解させる。		12

2 学 期	9	○室町幕府と北山文化 25：なぜ建武政権は崩れ、内乱が長引いたのか 26：室町幕府はどのようにして安定したのか 27：元寇後の東アジアにはどんな交流がみられたか 28：14世紀の文化はどのようなものか 29：中世の産業・社会はどのように変化したのか	○中世国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 室町幕府の成立や社会の仕組み、北山文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、元・明や日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現させる。	16	
	10	○下剋上の社会と庶民の台頭 30一揆とはどのようなものか 31：戦国時代はどのようにして始まったのか 32：戦国大名はどのように領国を支配したか 33：15世紀～16世紀の文化はどのような特徴をもちか ○中世から近世社会へ 34：近世初頭の日本と東アジアをとりまく状況とは 35：信長と秀吉はどのように天下を統一したか 36：検地・刀狩、朝鮮侵略はどのようにおこなわれたのか 37：信長・秀吉の時代にはどのような文化が生まれたか	○一揆や庶民の台頭、下剋上など中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、東アジア世界との関係と関連付けて過程や結果を適切に表現させる。 近世国家の形成過程と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 ○織豊政権とその特色や社会の仕組みから課題を見だし、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現させる。 織豊政権とその特色や社会の仕組みについての基本的な事柄を、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて理解させる。	12	
	11	○幕藩体制の成立と国際関係 38：幕藩体制とはどのようなものであったか 39：江戸時代の村と町はどのような姿であったのか 40：近世社会にはどのような社会集団があったのか 41：近世初期の国際関係はどのようなものだったか	○幕藩体制の成立と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 幕藩体制の成立とその特色や社会の仕組みから課題を見だし、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて、過程や結果を適切に表現させる。 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて理解させる。	16	
	12	○幕藩体制の展開と元禄文化 42：平和のもとで政治・経済・文化はどう変化したか 43：農業生産の向上は何をもたらしたか 44：交通はどのように整備されたか 45：商品とお金の流れはようになっていったのか 46：儒学や諸学問はどのような展開をみせたのか 47：近世中期までの文化にはどのような特色があるか	○幕藩体制の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 近世の都市や農山漁村における生活や元禄文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、東アジア世界との関係と関連付けて、過程や結果を適切に表現させる。 幕藩体制の展開とその特色、近世の都市や農山漁村における生活や元禄文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係と関連付けて理解させる。	12	
3 学 期	1	○幕藩体制の動揺と化政文化 48：吉宗はどのような政治をおこなったのか 49：田沼の政治や寛政の改革は何をめざしたのか 50：19世紀前半の「外圧」とはなんだったのか 51：農村社会と地域経済はどのように変化したのか 52：幕府・諸藩の改革はどのような結果であったのか 53：近世後期の文化はどのような特徴をもっていたのか	○幕藩体制の動揺と変容、社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高める。 幕藩体制の動揺と変容、近世の都市や農山漁村における生活と化政文化の特色とその成立の背景、近代化への基盤の形成から課題を見だし、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現させる。 近代国家の形成と社会や文化の特色から課題を見だし、開港と幕府の滅亡や国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現させる。	12	
	2	54：国学と洋学はどのように発達したのだろうか 55：学問や思想はどのようなひろがりをもせたか ○近世から近代社会へ	○近代国家の形成と社会や文化の特色についての基本的な事柄を、開港と幕府の滅亡や国際環境と関連付けて総合的に理解させる。	12	
	3	56：どのような世界史的背景で日本は開港したのか 57：開港は社会にどのような影響をあたえたのだろうか 58：江戸幕府はどのようにして倒れたのだろうか		8	
				予定時数計	140